

農山漁村地域整備計画における事後評価

| | | |
|--------|------------------|------------------|
| 整備計画名 | 岡山県農村地域整備計画(第2期) | |
| 計画策定主体 | 対象市町村 | 計画の期間 |
| 岡山県 | 岡山市ほか22市町村 | 平成26年度～30年度(5年間) |

1 交付対象事業の進捗状況

・5年間で対象事業92地区を農山漁村地域整備計画に位置づけ、平成30年度までに対象事業57地区が完了した。残り23地区は平成31年度からの3期計画に継続地区とするとともに、12地区は他計画へ移行しており、事業進捗は順調である。

2 事業効果の発現状況

農林水産業の生産を支える基盤整備、施設の長寿命化対策

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・農地整備事業(経営体育成型) | ほ場整備を実施した地域において、担い手農家への農地集積が図られた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・水利施設整備事業(基幹水利施設整備型) ・水利施設整備事業(畑地帯担い手支援型) ・地域用水環境整備事業 | 農業水利施設や小水力発電施設等の整備を実施したことで、水管理労力や維持管理費の軽減が図られた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・水利施設整備事業(基幹水利施設保全型) | 老朽化した基幹水利施設及び地域農業水利施設の補修や更新を実施したことで、施設の安定的な機能確保とライフサイクルコストの低減が図られた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・畜産環境総合整備事業(資源リサイクル事業) | 老朽化した家畜排せつ物処理施設の補修や補強を実施したことで、施設の安定的な機能確保とライフサイクルコストの低減が図られた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・農地整備事業(通作条件整備(基幹農道保全対策型)) ・農道整備事業(広域営農団地農道型) | 農道の整備を実施した地域において、供用率の向上や農道の危険箇所の改善が進み、農産物の物流の効率化と通行の安全性・利便性の向上が図られた。 |

農村地域の防災・減災対策

| | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設整備事業(高潮対策) ・海岸保全施設整備事業(海岸耐震対策) ・海岸保全施設整備事業(海岸堤防等老朽化対策) | 海岸保全施設整備事業を実施したことで、高潮や老朽化による浸水被害が解消される防護面積の増加が図られた。 |
|---|---|

中山間地域農林水産業の活性化

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・農村集落基盤再編・整備事業(中山間総合(一般事業型)) ・農村集落基盤再編・整備事業(中山間総合(集落基盤再編型)) | 中山間地域総合整備事業及び集落基盤再編事業により農業生産基盤と併せ農村生活環境を整備した地域において、快適性・利便性・安全性の改善が図られた。 |
|--|---|

魅力ある自然や景観の保全

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水事業 | 農業集落排水施設を整備する地域において、事業の実施により整備率の向上が図られた。施設を整備した地域において、最適整備構想策定率の向上が図られた。 |
|---|--|

| 3 成果目標の目標値の実現状況 | | | | |
|----------------------------|--------------------------------|-------|-------|--------|
| 農林水産業の生産を支える基盤整備、施設の長寿命化対策 | | | | |
| アウトカム目標 | 定量的指標 | 目標値 | 実績値 | 達成率(%) |
| 次代を担う担い手の育成 | 担い手への農地集積率 | 32.6% | 55.3% | 170% |
| 水管理労力、維持管理費の軽減 | 水管理労力、維持管理費の軽減された団体数 | 3団体 | 4団体 | 133% |
| 基幹水利施設等の長寿命化 | 安定的な機能確保とライフサイクルコストの低減が図られた施設数 | 6施設 | 6施設 | 100% |
| 家畜排せつ物処理施設の長寿命化 | 安定的な機能確保とライフサイクルコストの低減が図られた施設数 | 1施設 | 1施設 | 100% |
| 農産物の物流の効率化と通行の安全性・利便性の向上 | 供用率 | 40.0% | 58.5% | 146% |
| | 改善された危険箇所数 | 6箇所 | 6箇所 | 100% |
| 農村地域の防災・減災対策 | | | | |
| アウトカム目標 | 定量的指標 | 目標値 | 実績値 | 達成率(%) |
| 高潮等による災害の未然防止 | 増加した防護面積 | 36ha | 36ha | 100% |
| 中山間地域農林水産業の活性化 | | | | |
| アウトカム目標 | 定量的指標 | 目標値 | 実績値 | 達成率(%) |
| 農村地域における利便性の向上 | 快適性・利便性・安全性の向上した集落数 | 35集落 | 47集落 | 134% |
| 魅力ある自然や景観の保全 | | | | |
| アウトカム目標 | 定量的指標 | 目標値 | 実績値 | 達成率(%) |
| 水質保全と農村生活環境の改善 | 施設整備率 | 83.0% | 97.0% | 117% |
| | 最適整備構想の策定率 | 20.0% | 43.8% | 219% |

| 4 今後の方針 | |
|--|--|
| 整備計画年度を平成31年度～令和5年度(5年間)とする新たな計画を樹立し、コスト低減に効果的な基盤整備や施設の長寿命化対策、防災対策、農山漁村の活性化など、農林水産業を支える施策を実施し、儲かる産業としての農林水産業の確立を目指します。 | |